

環境調査結果のお知らせ

令和7年12月23日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。また、魚類に対しては無害とされていますが、二枚貝の変色（赤変）を引き起こすメソディニウム・ルブラムが最高で780 cells/mL確認されました。現在、大谷漁港内で発生している赤潮はメソディニウム・ルブラムが原因と考えられます。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

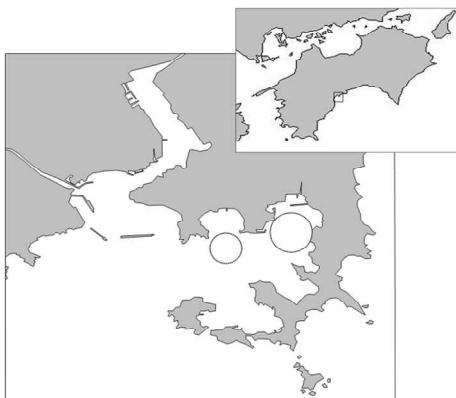
調査点 (透明度)	深度 (m)			プランクトン	
		水温 (°C)	塩分	珪藻	メソディニウム・ ルブラム
A ガラク (9.5m)	0	19.0	34.1	-	0
	2	19.0	34.1	-	0
	5	19.0	34.1	-	0
B 馬の背 (8m)	0	19.1	34.2	20	0
	2	19.2	34.2	0	0
	5	19.2	34.2	20	0
C 大室戸 (8.6m)	0	19.1	34.1	-	0
	2	19.1	34.2	-	0
	5	19.2	34.2	-	0
D 白浜 (9.8m)	0	19.0	34.2	-	0
	2	19.1	34.2	-	0
	5	19.1	34.2	-	0
E 湾奥ブイ (9m)	0	18.9	34.1	10	50
	2	19.0	34.2	0	60
	5	19.0	34.2	60	40
F 大谷漁港内	0	-	-	-	520
	2	-	-	-	780



- A: ガラク
- B: 馬の背
- C: 大室戸
- D: 白浜
- E: 湾奥ブイ
- F: 大谷漁港内

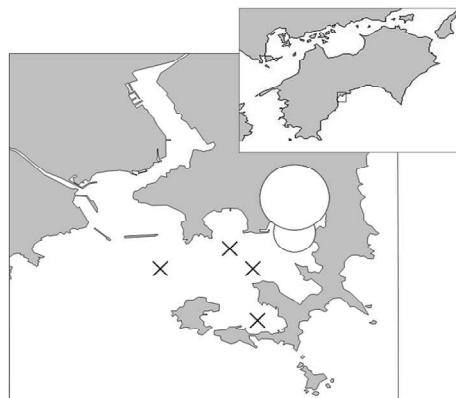
珪藻

最大細胞密度



メソディニウム・ルプラム

最大細胞密度

**凡例**

細胞数を表す円のサイズ

円のサイズは細胞数に比例（細胞数が300,000 cells/mL以上の場合、円のサイズは一定



円の色

プランクトンの細胞数に注意基準や警戒基準が設定されている場合、

注意基準の値以上

警戒基準の値以上